

生活の決まり（令和5年度）

1 基本的な方針

- （1）中学生として、日々の生活にけじめをつけ、生徒相互の交流を深め、中学校生活を円滑に送るためにきまりを設ける。
- （2）基本的な生活のきまりについては、以下のとおりとする。

2 頭髪等

- ・ 特異な髪型にしない。
- ・ 髪が肩にかかるようなら縛る。
（縛る場合、黒・紺・茶色のゴムとする）
- ・ 染色・脱色はしない。
- ・ 整髪料は使用しない。
- ・ 眉毛はそらない。化粧はしない。

3 服装

- （1）服装は下記の通りとする。
 - ・ スカートは、ひざ頭が隠れる長さとする。
 - ・ ワイシャツ、体育着、下着の裾は出さない。
 - ・ ブラウスのボタン及びワイシャツの第2ボタンはあけない。
 - ・ 下着は見えないようにする。
- （2）原則として5月～10月を夏期、11月～4月を冬期とする。
 - ① 夏季について
 - ・ 半袖のワイシャツは白無地に限る。
 - ・ 開襟、ボタンダウンは不可とする。
 - ・ ズボンは標準服とする。
 - ・ 半袖のブラウスにリボンをする。
 - ・ スカートは標準服とする。（膝が隠れる程度）
 - ・ 学校指定のベストの着用は自由とする。
 - ② 冬期について
 - ・ 学生服、ズボンは標準服とする。
 - ・ 長袖のワイシャツは白無地に限る。
 - ・ 開襟、ボタンダウンは不可とする。

- ・標準服、長袖のブラウスに学校指定のベストを着用しリボンをする。
 - ・スカートは標準服とする。（長さは夏季と同じ）
- (3) 授業時の服装
- ・教科担当の指示を受け、標準服または体育着等を着用する。
- (4) 学校指定の名札を左胸につける。
- (5) セーターを着るときは、上着の下に着る。セーターの裾や袖が長くはみ出さないようにする。
- (6) 防寒用コートは、黒・紺・グレー。ダッフルコート、Pコート、スクールコート、部活動のウィンドブレーカーを着用してもよい。
セーターは、黒・紺・グレーのものを着用してよい。カーディガンは不可。
- (7) 清掃は、原則としてジャージ着用（ジャージの中はワイシャツ・ブラウスでも可）または体育着を着用する。
- (8) 装身具（ネックレス、ピアス、指輪、ブレスレット、ミサンガなどのアクセサリ）はつけない。
- (9) 靴下の色は白・黒・紺・灰の無地。（ワンポイント可）とする。冬期のみタイツ可（色は黒・肌色とする）
- (10) 登下校の服装については原則として標準服とする。ただし、朝練習があるときは顧問の許可があればジャージでの登校を可とする。下校時も同様。ただ、雨天時はジャージ可。

4 靴

- (1) 上履き
- ・学年カラーのついた、学校で指定されたシューズを履く。
体育館履きと兼用
（令和5年度は1年生：緑 2年生：青 3年生：赤の3色）
 - ・ひもを縛り、かかとを踏まない。
- (2) 下履き
- ・運動に適した（体育の授業で使用できる）靴を履く。
ハイカットシューズやスニーカーなどは、履かない。

5 持ち物

- (1) 持ち物、服、靴などに、組・氏名を記入する。
- (2) 学校生活に必要な物を持ってこない。
例：お菓子類、雑誌類、ゲーム類、現金類、おもちゃ類、携帯電話、デジタルオーディオプレーヤーなど。アクセサリ類、化粧品類等は、学校に持って来ないこと。
- (3) カバンについて
 - ・両手があくようなカバン（リュックや肩掛けカバン等）を使用する。
 - ・サブバック（機能的なもの）を使用してもよい。
- (4) 日焼け止め・リップクリーム等の薬用品について
 - ・無着色、無香料のものとする。
 - ・貸し借りは禁止とする。
 - ・スプレータイプは禁止とする。
- (5) 水筒について
 - ・通年で使用できる。
 - ・中身は、お茶またはスポーツドリンクとする。

6 登下校時刻

- (1) 登校時刻
 - ・ 8 時 2 5 分出席確認
 - ・ 朝練習の生徒は顧問がついている場合 7 時 1 5 分から活動できる。
終了時刻は 8 時 0 0 分とし、8 時 2 5 分の出席確認には遅れないこと。
- (2) 下校時刻
 - ・ 一般下校時刻
活動の無い生徒は、帰りの学活終了後、速やかに下校する。
 - ・ 完全下校時刻は次の表のとおりとする。

	最終下校時刻
3 月から 9 月まで	1 8 : 0 0
9 月から 1 1 月・2 月	1 7 : 3 0
1 2 月・1 月	1 7 : 1 5

7 遅刻・欠席の連絡

病気などで学校を休むときは、保護者が欠席連絡をする。

8 その他の確認事項

- ・他のクラスへの出入りを慎み、ベランダに出ない。（清掃活動時は可）自分の学級でのまとまりを大切にする。
- ・校内では落ち着いた行動を心がけ、事故が起こらないように互いに注意する。
- ・登下校時は横に広がらないようにようにする。